

国際ロータリー会長
 ジョン ケニー
 地区ガバナー
 植木 康之
 三条北RC会長
 石川 勝行
 幹事
 早川 瀧雄
 SAA
 岡田 健



三条北ロータリークラブ週報

例会日 2009. 10. 6 累計 No.1102 当年 No.13

例会日: 火曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場: 三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114
 事務局: 三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内
 TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488
 ホームページ: <http://www.sanjo-nrc.org>
 メールアドレス: north@sanjo-nrc.org

本日の出席: 68名中31名

先々週の出席率:
 68名中55名80. 88%
 (前年同期82. 35%)

本日の行事: 「米山月間」



米山奨学会のシンボルマーク

本日のビジター: 高田RCより
 ガバナーエレクト 東山所也様
 地区副幹事 水上喜芳様

本日のオブザーバー:
 米山奨学生
 ヤーヤ・ムハマド、イズアリ君

先週のメイクアップ:(敬称略)
 9月30日三条RCへ
 木宮 隆
 10月1日燕RCへ 小林幹扶
 羽賀一夫、落合益夫
 3日米山委員長セミナー
 山崎 勲
 3日防災セミナー
 中條耕二、大野新吉
 石川勝行、早川瀧雄
 6日分水RCへ
 米山忠俊

本日のメニュー: 1, 181 kcal
 シーフードのミストローヌーフ 92
 帆立貝のサラダ 125
 ポークカレー 817
 梨のコンポート 147

会長挨拶

石川勝行会長



本日は米山強化月間ということで、委員長の山崎さん、奨学生のイズアリ君からお話をうかがいます。東山ガバナーエレクト、水上地区副幹事いらっしゃいませ。どうぞ、ごゆっくりお過ごし下さい。

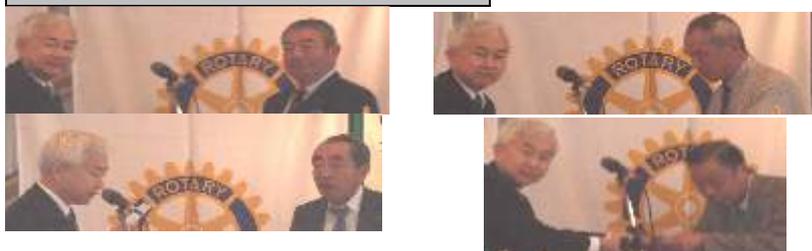
先週の土曜日10月3日旧山古志村のロータリーハウスで行われた防災セミナーに参加してきました。中條パストガバナー、大野委員長、

早川幹事と私(石川)の四人で行きました。長岡造形大学の平井先生の講義と討論等で「災害と危機管理」を朝10時から夕方4時頃までみっちり学習してきました。危機には対峙型(台風等予測可能)、奇襲型(地震等突然)、破綻拡大型(一点の破綻が急に全体破綻に)の三種類あるとのこと。阪神大震災等はまさに奇襲型。阪神地域には地震はないと勝手に思い込み。また、今がまさに目の前に起こっていることを「分かれ目」と実感判断できずに、大変なことになってしまった。起きた場合への対応としては、普段からの付き合い(急に頼まれても)、マニュアルの作成等が結果として重要であったとのこと。平井先生のバスガイドでバスに乗って被災地域等の視察をしましたが、手掘り中山隧道と棚田には、大変感動しました。北ロータリークラブに入って良かったと思いました。大野委員長有難うございました。

米山奨学金授与



ポールハリスフェロー認証状授与



IM感謝状授与

米山忠俊AG・石川勝行会長よりIMでパネリストを務めていただいた5名の方々に感謝状をお贈りしました。

池田 英夫様 (株)三條機械製作所
塚野一二三様 湯田上温泉越後のお宿わか竹
山本 賢会員 嵐陽会 三之町病院
木宮 隆会員 (株)キミヤ



東山昕也ガバナーエレクトよりご挨拶がありました

7月にガバナーエレクトに就任いたしました。今日は水上喜芳副幹事と伺いました。宜しくお願いいたします。



幹事報告

早川瀧雄幹事

- ・日本事務局より PHF 認証状伝達の件
マルチプルPHF 4回 斎藤 正
2回 大野新吉、米山忠俊、山口龍二、今井克義
山崎 勲、佐藤文夫、佐藤義英
1回 石川勝行、石川友意、大橋政雄、岡田 健
神田敬宏、小林繁男、西村 護、坂内康男
丸山 勝、安田貞夫、柄沢憲司
- ・三条市総務部情報政策課より 地域ICT利活用セミナーの開催について
日時 2009年10月15日(木) 14:00~16:30
会場 三条燕地域リサーチコア
- ・今月号の月信に先日の第4分区IMの記事が掲載されています。地区HPでご覧になれます。又閲覧用にプリントアウトして受付に有ります。
- ・IMの報告書として作成しましたDVDができました。ご希望の方には貸し出しいたしますので事務局までご連絡下さい。

第4回理事会

開催日：平成21年10月6日(火) 11:30~12:30

開催場所：三条ロイヤルホテル 出席者数14/14(内委任状4)

出席者：石川(勝) 小林(繁) 早川 山中 斎藤(正) 佐藤(義) 岡田(健) 坂内
山本 石川(友) 丸山(勝) 岡田(大) 大野 西村

協議事項：1. 復興支援「緑の募金」の件 承認
今回はクラブとしての募金を行わない
2. 報告事項 承認

菊池弘之さん10月20日入会式

「ダメゼッタイ」支援募金 15,740円送金

台湾台風義捐金 スマイルBOXより6,900円送金

地区大会選挙人として石川勝行会長・早川瀧雄幹事・斎藤 正副会長を推薦

委員会報告

大野社会奉仕委員長：「地区防災セミナーに参加して」

石川年度社会奉仕委員会活動事業項目に掲げさせて頂いた地区防災セミナーが10月3日（土）長岡市旧山古志村のロータリーハウスで40数名の参加で開催されました。三条北RCから中條パストガバナー、石川会長、早川幹事、そして委員長の大野が参加させて頂きました。ちなみに三条・三条南・三条東RCから参加はありませんでした。

午前10時30分より地区社会奉仕委員長田中哲雄氏（長岡東RC）の挨拶で開会され午前中は復興された山古志地内を視察、昼食後、植木ガバナーの挨拶後、長岡造形大学教授平井邦彦先生を講師に「皆で考えよう・・・災害と危機管理」と題した基調講演がありその後、班別討論テーマ「地域災害・ロータリーのできるごとく」で自然災害（台風・水害・地震・豪雪など）の経験を踏まえ近年益々多発する様々な災害に備えロータリーとして組織を生かした活動をするにはどんな方法が良いか、次の視点から討議しました。1）平時の心構えと組織の在り方 2）災害発生直後の対応 3）発生1週間以降の支援の在り方 以上の3項目で討議し、班長がそれぞれの意見をまとめて発表。その後パストガバナーの挨拶、懇親会に参加、山古志ならではの山菜料理を味わい終了しました。災害後初めて、復興山古志地内を見学出来、自然災害の恐ろしさや短期間で国の総力を上げての復興工事の凄さを他国と比べ改めて日本の国力の偉大さが感じられた素晴らしいセミナーだったと感謝いたしております。

ニコニコBOX:6日現在累計271,000円

東山 昕也ガバナーエレクト（高田RC） ガバナーエレクト就任のご挨拶に伺いました。

斎藤 正君 東山ガバナーエレクト、水上地区副幹事ご多忙のところ、ご来訪いただきありがとうございます。ありがとうございます。

渋谷 義徳君 東山ガバナーエレクトの来訪に感謝します。

堀川 正幸君 高田RCより東山ガバナーエレクト地区副幹事水上さんようこそ!!

今井 克義君 本日の「会員の声」で私にこどもができなかった本当の理由がわかりました。決して肉体的欠陥や操作が悪かったのでは無かったです。岡田大介さんに感謝!!

星野 義男君 山崎さんの卓話に感謝して!!

樋口 金占君 BOXに協力

* 9月のコメント大賞は石川勝行会長です。

米山奨学BOX

中條 耕二君 東山エレクトさん、水上地区副幹事さんようこそ北クラブにお出で頂きました。

吉田 文彦君 イズアリ君を歓迎して

新田 あみ君 山崎さまがひとりぼっちだったので

下村 啓治君 ノーコメント

今井 克義君 協力して

加藤 實君 //

山崎 勲君 今月は「米山強化月間」です。皆様ボックスを回しますのでポケットの小銭でかまいませんのでご協力下さい。



*上記の方々の他に多くの会員からご協力いただきました。ありがとうございました

本日の行事

「米山月間」

米山奨学生スピーチ

ヤーヤ・ムハマド・イズアリ君

(マレーシア) 長岡技術科学大学工学研究科
電気電子情報工学 修士1年



テーマは挨拶ということでお話します。

母国では挨拶の大切さが良くわかっていなかったのですが、日本

に来てから挨拶の大切さが分かるようになりました。最初にお互いの姿を確認した際、言葉や身振で相手の存在を分かる行動をします。例えば目を合わせる、手を上げると言うことをします。多くの社会で人間関係の円滑を図る上で必修の手続きと見なされています。そのため挨拶をしなければ他者との摩擦に発展しかねません。

日本では社会的に挨拶は強く奨励されているらしいです。家庭内の躾や学校教育に於いても習慣化されています。人々は挨拶するのが当たりまえという環境で育ってきました。挨拶をしない自由も存在していますが、そういう自由を行使すると憚られるムードがあらゆる場所でできています。又、こういった挨拶の是非を討論する事も絶無です。挨拶は普遍的に受け入れられています。

挨拶という行為そのものに即時的な利益は期待できませんが、長期的に見た場合、挨拶を一切しない生き方は他者から好感が得られにくい又、他者との摩擦が生じやすい。そのため挨拶という習慣は戦術的意義よりも戦略的意義が大きいと考えられます。時に挨拶のコストが挨拶の利益や行為より小さいと感じられる者にとって費用対効果が大きい、経済的な投資であると思います。

これからもきちんと挨拶したいと思います。聞いていただきありがとうございます。

米山奨学委員会 山崎 勲委員長

先週「米山奨学委員長セミナー」に出席して来ました。

前年度「米山奨学寄付額」が多い順に並べられ、私は2番テーブルでした。気分の悪い思いをしたので事務局に確認しましたら、ガバナーよりの要請額は納めてありますということでした。東山ガバナーエレクトもお見えになっていますが、そういうはしたない行為は辞めていただきたいと思っています。会員数の少ないクラブはどうしても合計額は少ないわけですのでその当たり配慮していただきたいと思っています。

米山奨学生として日本で勉強し母国に帰って活躍していただける方が多数いらっしゃるようで例として数人が紹介されていました。政府の偉い立場の人、平和のために活躍している人等です。日本で学んで母国で役立て、日本を紹介してくれると言うことが世界平和に繋がっていくと思っています。そういうことを踏まえた上で寄付を集め、使っていくべきだと思います。奨学生の数も右肩上がりが増えてきています。

税制上も優遇措置がありますので良く理解いただきご協力お願いします。

※米山記念奨学会寄付について

普通寄付：人頭分担金と一緒に寄付（R I 費として会員1人当たり年間4,000円）

特別寄付：法人、個人を問わず任意で随時

税制上の優遇措置：「特別公益増進法人」として認定されているため特別寄付金に対しては寄付金控除対象となります。詳細は委員長・事務局までお訊ね下さい



10月のお祝い

会 員		誕生日	ご夫人	結婚記念	
斎藤 正	5	外山真智代	1	山崎 勲・八重子	1
山口 龍二	14	神田トモ子	1	大野 新吉・勝子	10
米山キクエ	16	高森登茂子	7	坂本 勝司・敏子	18
早川 瀧雄	25	石丸ノリ子	16	阿部 勝子・藤男	18
神田 敬宏	26	本間 絹枝	30	高橋 彰雄・淳子	22
		青木 征子	30	安田 貞夫・夏江	22
				小林 繁男・三千世	24
				佐藤 弘志・奈緒子	26
				本間 重満・君子	31

会員の声

私は電気、ガス水道、電話、冷暖房等のいろいろと数字の変化を見るのが楽しみです。値が変わった時「良い」「悪い」のどちらかですが今回は当社の固定電話の数字を紹介します。

平成	年間料金	発信回数	着信回数	発着回数	無料通話
10年	155.9万				
11	151.6				
12	139.9				
13	125.1				
14	128.6				
15	128.8				
16	102.4	30,439			
17	83.6	26,374			
18	73.9	22,007	24,099	46,106	
19	74.7	22,190	26,599	48,789	10.9%
20	74.2	20,852	25,565	46,417	14.1%
21	39.1	12,220	14,664	26,884	15.9%

- ① 12年NTTCMのIP電話1回線導入。②16年NTTCMのIP電話4回線導入。
- ③ 21年NTT東IP電話4回線導入。④21年は8月末までの数字です。
- ⑤ 18年CTI(発着信、年月日時刻、通話時間、回線番号、通話先、履歴記録装置)導入。電話用件を、アポ取り、商談、質問問合せ、ソフトサポート、修理、その他等と分類し、作業バランス、納入ソフトの品質、顧客の特性などの分析に利用しています。
- ⑥ 発信回数の減少はメールの利用も多くなったが「悪い変化」で20、21年の値が示す。
- ⑦ 着信回数の減少は携帯の利用が多くなった。
- ⑧ 無料通話の割合も年々増加し今は16%になりましたが、知識のある顧客は無料通話の回線を積極的に導入されています。
- ⑨ 今年の電話料金は58万円と予測していますが11年後で100万円(60%)も安くなりました。正確な情報を早く入手し実行することが大切だと痛感します。

落合益夫

10月記帳受付

15日(木)	三条東RC	(三条ロイヤルホテル)
15日(木)	加茂RC	(加茂市産業センター)
16日(金)	吉田RC	(山岸会計事務所)
21日(水)	三条RC	(三條信用金庫本店)
22日(木)	燕RC	(燕三条ワシントンホテル)
27日(火)	分水RC	(新潟大栄信用組合本店)
27日(火)	三条北RC	(三条ロイヤルホテル)
29日(木)	三条東RC	(三条ロイヤルホテル)



ロータリー米山記念奨学会は
外国人留学生を支援する
民間最大の奨学団体です



ハイライトよねやま 114

毎月米山記念奨学会から発行されています。

1. 寄付金速報

2009-10年度の最初の月である7月の寄付金は、約2億900万円でした。前年度に比べて6.2%減、約1,400万円の減少です。普通寄付金が3.2%減、特別寄付金が15.2%減と、特別寄付金が特に厳しい滑り出しとなりました。この数字は、過去10年間では2004-05年度に次いで2番目に低い金額です。今年度の予算目標額は前年度と同じ14億5,000万円ですので、今後、より一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 奨学生の募集が始まりました

2010学年度の指定校が8月10日、当会ホームページ（HP）で発表され、いよいよ来年4月採用の新奨学生募集が始まりました。

地区米山記念奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で465校（前年度432校）。被推薦者数は1,702人で、この中から地区の選考を経て新規採用者約619人が選ばれます。

今回の募集より、公平性の観点から中国・韓国籍の学部生に応募資格が認められ、多くの学校で有資格者（米山奨学金の対象となる留学生）が増加したことから、今年初めて指定校となったり、指定校に復帰したケースが多くみられました。また、大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは5地区9校で、昨年度の7地区11校からやや減少しました。

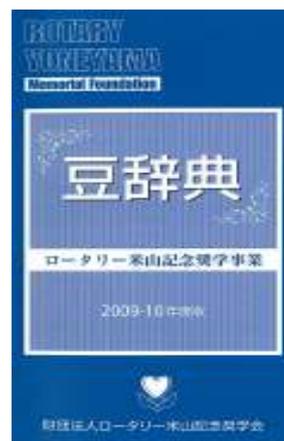
指定校に対し、推薦者を選ぶ際の「選考の目安」を提示した地区は26地区で、その多くが「国籍が偏らないこと」（21地区）、「日本語運用能力」（19地区）を希望しています。

募集要項・申込書はHPからダウンロードできるほか、8月15日付で当会から指定校へ送付されます。

3. 今年も「豆辞典」発行します

“よねやま”を理解するための基本情報がすべて掲載されている『豆辞典』を今年も発行します。

ポケットサイズの小冊子の中に、米山記念奨学事業の特長、財政、寄付金の使途、表彰制度や米山学友の情報などが網羅されています。この『豆辞典』は、10月の米山月間資料として、全クラブに会員数分送付します。ぜひ手にとってご覧ください。（本日例会にて配布済み）



*ハイライトよねやま114号より抜萃